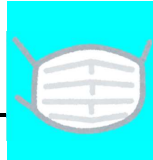


2020年7月31日

# 江戸取図書館便り 7月3号



## —東京国立博物館紹介—



**\*特別展「きもの」2020年8月23日まで「鎌倉時代から現代まで通覧する、初めての大規模きもの展！」**

・オンライン予約が必要です。中学生まで無料、高校生900円、一般1,700円です。コロナ対策で密集度は、そんなに高くありません。日曜日予約満員の状態で、以前と混み具合を比べれば、今日は見やすいね!と思いました。女性の方がとても多く、夏物の着物姿の方も沢山いらっしゃいました。

・大袖を引き摺って歩いていた優雅な平安貴族の着物は、下に着ていた小袖が表着になり一般に広がります。江戸期から昭和初期の着物を見ていると現代に通じるものがあり、そこには生活が見える様です。信長や秀吉の陣羽織も展示されています。信長の陣羽織は、白い蝶の図柄やその仕立て方に新しく南蛮文化の影響を感じます。この陣羽織一つ見ても歴史の転換期と思えます。

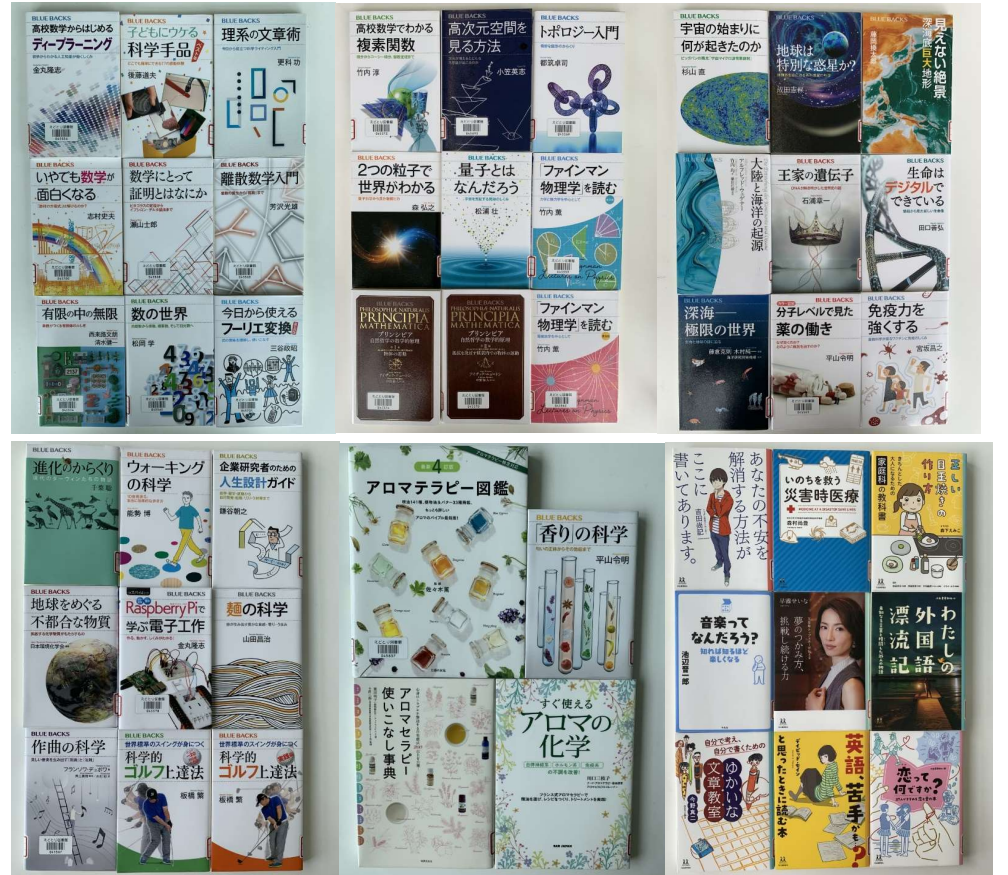
・真中の写真は博物館でいただいたリーフです。同じくいただいた朝日新聞記念号外「めくるめく美の絵巻」とリーフは、図書館内に掲示しています。左右の写真は、ロビー展示の複製の着物です。

左端は、「振袖 白縮緬地衝立梅樹鷹模様」です。右端は、「尾形光琳筆 小袖 白綾地秋草

模様 (通称<冬木小袖>)」です。特別展の実物は重要文化財で、18世紀の作品です。この観覧券で、本館常設展の展示も見学できます。博物館・美術館のひとは時はいかがでしょうか。(司書)



# \*お待たせしました、理系新刊「ブルーバックス」・貸出始めます(ゴルフも科学です)



\*ブルーバックス『香りの科学』から、発展させて「アロマテラピー」の使い方をご紹介します。  
・「アロマの本。ないですか?」とつぶやいてくださったのは女性の先生です。「みんな忙しいけれど、リラックスしてほしいです」・花を愛でて香りを感じてほしい。ひと時の安らぎを大切に!  
・「アロマテラピーは世界各地、その土地の植物とともに育った香りの文化」「精油の香りをかぐことから始めましょう」・「精油は薬ではありません」⇒「薬ではないからこそ、正しく使うことが大切です」(『アロマテラピー図鑑』6・19・22頁)とあります。・西洋の香道は、お線香の使い方もありますが、アロマテラピーでは精油にして香水のような使い方をします。日本には古来より「香道」という香りを理解して、香りを文化にしてきました。平安の貴族は、着物にお香を焚きこんでいたそうです。(司書)

\*「14歳の世渡り術」や「中学生の質問箱」は、編集方針が中学生・入門者を想定しています。さらっと読んでみませんか? わからないことを知る手がかりにお薦めします。このシリーズも継続してそろえてゆきます。